平成２６年度　　事務事業評価シート

章	2	自然とともに暮らすまち
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり
施策	I	総合防災体制の整備
目標		万が一の災害に備えた心構えなどの普及啓発や防災機材の整備や地域防災組織の整備促進、非常用食糧の適正な備蓄、未整備河川の改修整備を進める。

	指標名	単位	基準値 H16	中間値 H21	実績値 H22	実績値 H23	実績値 H24	実績値 H25	実績値 H26	目標値 H27
指標①	防災訓練の実施回数	回	隔年実施	1	0	1	0	1	－	隔年実施
指標②	防災意識向上のための勉強会や研修会の開催回数	回	22	126	148	163	201	221	－	150
指標③	自主防災組織の世帯加入率	%	21.8	68.1	74.6	76.6	77.7	86.8	－	75

施策コード	施策の基本的な方向	主要な施策	具体的な内容
1-①	1　総合防災対策の推進	①　防災計画の推進	・災害対策基本法に基づき登別市防災会議が「登別市地域防災計画」を作成しており、この計画に沿った防災体制の適切な執行に努めるとともに、必要に応じて適宜修正をし、災害に対しての基本体制の充実に努めます。
1-②	1　総合防災対策の推進	②　防災訓練の実施	・登別市地域防災計画に基づき、隔年で防災訓練を実施し、万が一の自然災害に備える訓練の充実に努めます。
1-③	1　総合防災対策の推進	③　ハザードマップの活用	・平成17 年度、１８ 年度の2か年事業で作成し、全戸配布したハザードマップ（ 災害予想区域図）を万が一の自然災害に備えた日頃の心構えや非常持ち出し品の備え、自宅周辺における危険個所の把握などに活用してもらい、これによって被害を最小限に抑えることが可能となるよう努めます。 ・地域と連動しながら、災害時における要援護者（高齢者や障がい者など）への避難支援対策の充実・強化を図ります。
1-④	1　総合防災対策の推進	④　防災思想の普及啓発強化	・自主防災組織や各町内会を対象に防災に関する研修会を繰返し実施することにより、市民の防災に対する意識を高め、啓発活動の推進に努めます。 ・津波・地震に対する避難所や避難経路の周知などの啓発等に努めます。
2-①	2　防災体制の確立	①　防災施設及び設備の適正管理	・屋内・屋外の一次避難所やサイレン遠隔吹鳴装置など、災害時に活用する施設や各種設備の適正な維持管理を行い、万一の災害時にも円滑に機能するよう整備に努めます。 ・集中豪雨による道路冠水の原因を調査し減災のための対策を講じます。
2-②	2　防災体制の確立	②　防災センター機能の整備	・各種災害に備えた防災センター機能を備えた施設の整備に努め、効果的防災体制の充実を図ります。
2-③	2　防災体制の確立	③　防災情報体制の拡充	・降雨情報等の高性能観測装置や同報系無線システムなど地域防災システムの整備に努め、災害時の情報伝達の円滑な推進に努めます。 ・広報媒体としての放送機関との連携強化を図ります。
2-④	2　防災体制の確立	④　自主防災組織の設立促進	・平成21 年度末、２０の自主防災組織があり、65 の単位町内会（ 組織率7 0% ＝ 全9 5 町内会）が参加していますが、全ての町内会が自主防災組織を有する取組を進めます。
2-⑤	2　防災体制の確立	⑤　地域における防災資機材の装備	・自主防災組織に対し、各種資機材の整備に必要な財政支援を行い、防災活動の助長を図ります。
2-⑥	2　防災体制の確立	⑥　非常用食糧の備蓄	・山間部など災害時に孤立する可能性がある地域に非常用食糧の備蓄を図ります。
3-①	3　治山・治水対策の推進	①　治山事業の推進	・森林の維持保全と、山地に起因する災害から市民の生命・財産を守るため治山事業を推進します。
3-②	3　治山・治水対策の推進	②　治水事業の推進	・未整備の河川について、計画的な整備に努めるとともに、河川の維持管理に努めます。

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名	課名	開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	Plan ・ Do：事業概要：事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	事業の成果、目標：指標名	単位	H24 実績	H25 実績	H26 目標	H27 目標	H28 目標	H29 目標	各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案【 単位 ： 千円 】：名称	H24 決算	H25 決算	H26 予算	H27 予算案	H28 予算案	H29 予算案	Check：第2期基本計画第3次実施計画期間中（H24～H26）における事業内容の変更・改善等の状況	評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）	Action：今後の事業の方向性【H27以降】
1	1-②	総合防災訓練実施事業	総務部	総務G	S61	－	ソフト	一般会計	災害時において市民の生命、財産を守るため防災関係機関及び地域住民が一体となり、適切で迅速な行動を身につけるとともに、防災意識の高揚を図ることを目的とする。	H24	－	－	－	総合防災訓練	回		1		1		1	国庫支出金							H24以前	防災意識の高揚を図るため、隔年での総合防災訓練を実施しており、事業の実施にあたり、訓練内容の見直し等を行っております。	維持	災害に強く、安全・安心に暮らすことのできるまちづくりには平時からの備えが必要であることから、欠かすことのできない事業である。	災害時において、市民の生命、財産を守るため、防災関係機関及び地域住民が一体となり、適切で迅速な行動を身につけるとともに、防災意識の高揚を図るため、隔年での総合防災訓練を実施していく。
																						道支出金										
										H25	市民、職員、防災関係機関	防災関係機関及び地域住民が一体となり、隔年で訓練を実施した。 【訓練内容】 安全確保訓練（地震）、津波情報伝達訓練、災害対策本部設置訓練、エリアメール等配信訓練、サイレン吹鳴訓練、広報訓練、津波避難訓練、災害時要援護者避難支援訓練、炊出し訓練、がれき撤去訓練、緊急支援物資輸送訓練、仮設トイレ設置訓練、救出救護訓練、給水訓練、避難所用緊急電話設置訓練、ガス器具設置訓練、河川氾濫防止訓練等	災害対策基本法、登別市地域防災計画								地方債							H25	上記のとおり			
																						その他										
		23112001								H26	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	一般財源		1,559		2,192		2,192	H26	－		
																						合　計	0	1,559	0	2,192	0	2,192				
2	1-③	防災マップ改訂事業	総務部	総務G	H25	H25	ソフト	一般会計	各種災害における危険区域図や避難所等を掲載したマップを作成し、市民が災害時の危険箇所を知り避難に役立てて、災害時の減災を図ることを目的とする。	H24	－	－	－	作成部数	部		26,000					国庫支出金							H24以前	津波浸水予測図等の見直しを受け、平成18年に作成した防災マップの内容のリニューアルについて検討した。	終了	防災マップを26,000部作成し、配布したことにより、市民の防災意識向上とマップの活用による地域における防災活動の取り組み促進が見込まれる。	随時、増刷を行い、転入者等に配布していくとともに、津波浸水予測図等の見直しを受け、今後、リニューアルの必要性について検討していく。
																						道支出金	地域づくり総合交付金		3,800							
										H25	市民	平成17、18年度で作成した防災マップの情報等を基に、津波浸水予測図や各種ハザードマップの統合等を行い、全面改訂した。 【事業内容】 登別市防災マップ更新業務委託　１式 印刷数　26,000部	登別市地域防災計画								地方債							H25	洪水ハザードマップと防災マップを複合させるとともに、見やすさにも配慮した防災マップを作製した。			
																						その他										
		23113003								H26	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	一般財源		3,865					H26	－		
																						合　計	0	7,665	0	0	0	0				

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	Plan ・ Do 事業概要 事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	事業の成果、目標 指標名	単位	H24 実績	H25 実績	H26 目標	H27 目標	H28 目標	H29 目標	各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】 名称		H24 決算	H25 決算	H26 予算	H27 予算案	H28 予算案	H29 予算案	Check 第2期基本計画第3次実施計画期間中(H24～H26)における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）	Action 今後の事業の方向性【H27以降】
3	1-④	津波避難ビル看板整備事業	総務部	総務G	H25	H25	ソフト	一般会計	大津波警報発表時に高台へ逃げ遅れた市民等の避難先となり得る津波浸水区域内にある津波避難ビルの周知を図ることを目的とする。	H24	－	－	－	津波避難ビル施設数【累計】	施設	12	15	15	15	15	15	国庫支出金								H24以前	大津波警報発表時に高台へ逃げ遅れた市民等が逃げられる「津波避難ビル」の検討を行うとともに、その周知方法について検討を行った。	終了	津波避難ビルに指定した建物及びその周辺に看板を設置し、津波避難ビルの周知を図ったことから、事業の目的が達成された。	事業の目的を達成したところではあるが、市内の津波浸水区域内の地域住民などから新たに津波避難ビルへの指定の要望を受けた場合などは、指定について検討していくとともに、周知看板の設置についてもあわせて検討していく。
																						道支出金	地域づくり総合交付金		600										
										H25	市民等	津波避難計画において定める基準を満たした建物を「津波避難ビル」に指定し、建物及びその周辺に看板を設置した。 【事業内容】 建物壁面看板　：　15施設 1施設２～６枚（全48枚） 誘導看板　：　電柱11箇所22枚、 街路灯14箇所14枚（全36枚）	登別市津波避難計画								地方債														
														看板設置数【累計】	箇所(枚)		40(84)	40(84)	40(84)	40(84)	40(84)	その他													
										H26	－	－	－									一般財源			608					H26	－				
		23114001																				合　計		0	1,208	0	0	0	0						
4	2-①	防災対策強化事業	総務部	総務G	H24	－	ソフト	一般会計	東日本大震災を教訓に、津波に対する市民の一層の意識高揚を図るとともに、大規模停電をはじめ、各種災害等に対応する備品等を整備し、防災対策の強化を図ることを目的とする。	H24	市民	地域の防災拠点へ年次的に防災備品等を備蓄した。 【事業内容】 非常食（3,522食）、育児用ミルク（84食）、ハンド型メガホン（10台）、避難所用ラジオ（10台）、防災行政無線機（1台）、ブルーシート（100枚）、毛布（90枚）、車載用拡声器（２台）、ＬＥＤ懐中電灯（10台）、海抜表示看板（100箇所（200枚）設置）、屋内避難所看板（91箇所設置）、災害時要援護者用避難所テント（20張）、防災用ベスト（150着）等	登別市地域防災計画	非常食の備蓄数【累計】	食	9,482	12,532	16,482	19,382	20,822	21,900	国庫支出金								H24以前	平成24年11月末の大規模停電等を教訓として、登別市備蓄整備方針の策定を行った。	維持	津波災害など大規模な災害に対応するためには、災害発生後も命をつなぐための防災備蓄を平時から行っていく必要がある。	登別市備蓄整備方針等に基づき、非常食の備蓄を進めるとともに、平成24年11月末の大規模停電を踏まえ、冬期の停電等を視野に入れた防災備蓄品等を年次的に整備していく。
																						道支出金	地域づくり総合交付金	500	2,800	2,200	2,000								
										H25	上記のとおり	地域の防災拠点へ年次的に防災備品等を備蓄した。 【事業内容】 非常食（3,500食）、育児用ミルク（420食）、ハンド型メガホン（10台）、避難所用ラジオ（10台）、携帯充電器（60個）、防災行政無線機（５台）、避難所用マット（10枚）、カセットガスボンベ（135本）、防災用投光器（６台）、投光器用三脚（３台）、電工ドラム（６台）、カセットガス発電機（３台）、ＬＥＤランタン（49台）、ＬＥＤ懐中電灯（10台）、ガストーブ（10台）等	上記のとおり								地方債														
														発電機の備蓄台数【累計】	台	5	8	11	15	15	15	その他	北海道市町村振興協会交付金、ふるさとまちづくり応援基金繰入金等			3,055									
										H26	上記のとおり	地域の防災拠点へ年次的に防災備品等を備蓄する。 【事業内容】 非常食（4,600食）、育児用ミルク（420食）、カセットガスコンロ（５台）、やかん（５個）、ハンド型メガホン（８台）、避難所用ラジオ（９台）、防災行政無線機（４台）、避難所用マット（10枚）、防災用投光器（８台）、投光器用三脚（４台）、電工ドラム（８台）、カセットガス発電機（３台）、ＬＥＤランタン（51台）、ＬＥＤ懐中電灯（20台）等	上記のとおり								一般財源		4,329	3,328	332	2,363	1,614	1,614	H26	上記のとおり				
		23121002																				合　計		4,829	6,128	5,587	4,363	1,614	1,614						
5	2-①	防災行政無線（同報系）整備事業	総務部	総務G	H25	H26	ハード	一般会計	現在のサイレン遠隔吹鳴装置の使用期限が迫っていることに加え、現在の吹鳴装置でカバーできていない地域があることから、災害による被害が見込まれる地域等に災害情報を即時かつ一斉に伝達し、市民の円滑な避難行動を図ることを目的とする。	H24	－	－	－	各年度の事業達成率	%		100	100			国庫支出金								H24以前	消防無線の使用期限が平成28年５月31日までであること、一部地域で聴取困難箇所があることから、防災行政無線(同報系)の整備について検討を行った。	終了	防災行政無線（同報系）の整備により、災害による被災が予測される地域に対し、災害情報を即時かつ一斉に伝達することが可能となり、災害時の円滑な避難誘導を図ることができる。	平成26年度で事業終了予定
																						道支出金													
										H25	防災行政無線（同報系）	新たに防災行政無線（同報系）を整備するため、必要な調査・設計を実施する。 【事業内容】 防災行政無線（同報系）整備事業設計業務委託	登別市地域防災計画								地方債			3,100	486,000				H25	防災行政無線(同報系)の整備に必要な調査・設計を行った。				
																						その他													
										H26	上記のとおり	平成25年度に実施した設計業務委託をもとに、防災行政無線（同報系）整備工事を実施する。 【事業実施予定】 防災行政無線（同報系）整備工事	上記のとおり	－	－	－	－	－	－	－	一般財源			1,625	7				H26	防災行政無線(同報系)の整備工事を実施する。				
		23121003																				合　計		0	4,725	486,007	0	0	0						
6	2-①	本庁舎非常用発電機設備設置事業	総務部	総務G	H25	H25	ハード	一般会計	自然災害等により庁舎が停電に陥った場合の必要最低限の災害対策機能を確保することを目的とする。	H24	－	－	－	災害対策準備率			100					国庫支出金								H24以前	平成24年11月の大規模停電を受けて、災害時における災害対策機能の確保の必要性が高まったことから、必要な電源及び部品の整備について検討を行った。	終了	必要最低限の災害対策機能を維持するための整備が図られた。	平成25年度で事業終了。 なお、備品等の耐用年数にあわせて更新、修繕について検討を行っていく。
																						道支出金													
										H25	市役所本庁舎	非常用の発電機やＦＡＸ蓄電池、ＬＥＤランタン、ガソリン携行缶の購入及び非常用電源切替設備の整備を行った。									地方債													
																						その他													
										H26	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	一般財源			1,024					H26	－				
		23121004																				合　計		0	1,024	0	0	0	0						
7	2-⑤	防災資機材購入費補助事業	総務部	総務G	H9	－	ソフト	一般会計	自主防災組織における防災活動に要する資機材の購入整備に対して補助金を交付することにより、地域における自主防災意識の高揚を図り、防災活動を積極的に推進することを目的とする。	H24	自主防災組織	登別市防災資機材購入整備費補助事業実施要綱に基づく資機材を、自主防災組織の規模に応じて購入費を補助した。 【事業実績】 補助金交付自主防災組織数：１団体	登別市地域防災計画、登別市防災資機材購入整備費補助事業実施要綱	自主防災組織率	%	77	87	91	94	96	99	国庫支出金								H24以前	平成23年３月の東日本大震災及び平成24年11月の大規模停電を契機として、自主防災組織未結成町内会に対し、市と連携した防災研修会や防災訓練を開催するなど、自主防災組織の重要性を訴え、自主防災組織結成及び防災資機材購入を促した。	維持	地域における防災意識の高揚を図り、防災活動を積極的に推進するため、自主防災組織における防災活動に要する資機材の購入整備に対して補助金を交付する必要がある。	防災資機材購入整備費補助事業は、自主防災組織結成の一助となることから、今後も継続して補助事業を進める。
																						道支出金	地域づくり総合交付金		1,100	2,000	2,300								
										H25	上記のとおり	登別市防災資機材購入整備費補助事業実施要綱に基づく資機材を、自主防災組織の規模に応じて購入費を補助した。 【事業実績】 補助金交付自主防災組織数：５団体	上記のとおり								地方債								H25	町内会や議会から補助対象品目の拡充や、資機材の更新に対する補助の要望があったことから、自主防災組織設立後10年経過した組織に対して２回目の補助を行うほか、補助対象品目の拡充等を行った。				
																						その他	北海道市町村振興協会交付金			1,889									
										H26	上記のとおり	改正した登別市防災資機材購入整備費補助事業実施要綱に基づく資機材について、補助金の交付を受けたことがない自主防災組織及び補助金の交付を受けた日から10年が経過した自主防災組織に対して、当該組織の規模に応じて購入費を補助する。 【事業実施予定】 補助金交付自主防災組織数：11団体	上記のとおり	－	－	－	－	－	－	－	一般財源		299	1,238	211	2,300	600	600	H26	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。				
		23125001																				合　計		299	2,338	4,100	4,600	600	600						

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	Plan ・ Do 事業概要 事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	事業の成果、目標 指標名	単位	H24実績	H25実績	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標	各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】 名称	H24決算	H25決算	H26予算	H27予算案	H28予算案	H29予算案	Check 第2期基本計画第3次実施計画期間中(H24～H26)における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など （妥当性、有効性、効率性、成果）	Action 今後の事業の方向性 【H27以降】
8	3-①	林業振興経費	観光経済部	農林水産G	－	－	ソフト	一般会計	急傾斜地の保護などを行うことにより、地域住民の安全を確保するとともに、生活環境の向上を図ることを目的とする。	H24	市民	森林の保護や治山施設の効果を高めるため、治山施設の点検と修繕、保安林の保護等を行った。 【主な事業実施内容】 治山施設の修繕 保安林の保護		施設等の修繕箇所	箇所	3	6	5	5	5	5	国庫支出金							H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	事業の実施により、地域住民の安全の確保が図られており、今後も事業を継続することが相当と考える。	保安林及び治山施設の維持管理を行い、引き続き被害の防止に取り組む。
																						道支出金												
										H25	上記のとおり	上記のとおり										地方債							H25	上記のとおり			
														－	－	－	－	－	－	－	－	その他												
										H26	上記のとおり	上記のとおり実施予定										一般財源		624	646	742	742	742	742	H26	上記のとおり			
		23131001																				合 計		624	646	742	742	742	742					
9	3-②	河川維持補修事業	都市整備部	土木G	－	－	ハード	一般会計	河川の適切な維持管理を行うことにより、治水対策の推進及び環境維持・安全性の向上を図ることを目的とする。	H24	普通河川及び準用河川の河川施設及び河川堤防	河川施設の修繕及び河川堤防の草刈りを実施した。 【事業実績】 ・河川築堤草刈委託（７河川） ・河川浚渫L＝31m ・河川の護岸及び河川防護柵の補修	河川法及び登別市普通河川管理条例	河川築堤草刈委託を行う河川数	河川	7	7	7	7	7	7	国庫支出金							H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	河川法及び登別市普通河川管理条例に基づく河川の管理者は市であることから、市が主体的に行う事業である。	治水対策の推進及び環境維持のため、当市が管理する河川の維持管理のあり方について検証を行っていくとともに、引き続き河川施設の維持補修や草刈りを行っていく。
																						道支出金												
										H25	上記のとおり	上記のとおり 【事業実績】 ・河川築堤草刈委託（７河川） ・河川の護岸及び河川防護柵の補修 （ポン来馬川ほか）	上記のとおり									地方債							H25	河川浚渫について、平成25年度から道路排水対策（雨水対策）事業にて実施することとした。			
														－	－	－	－	－	－	－	－	その他												
										H26	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり									一般財源		3,721	4,117	4,128	4,128	4,128	4,128	H26	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。			
		23132001																				合 計		3,721	4,117	4,128	4,128	4,128	4,128					
10	3-②	河川防護柵設置事業	都市整備部	土木G	H22	H26	ハード	一般会計	河川の安全施設を整備することにより、市民の安全確保を図ることを目的とする。	H24	上鷲別川	上鷲別川の河川防護柵を設置した。 【設置実績】60.5m	河川法及び登別市普通河川管理条例	設置距離 ※本事業による設置分	m メートル	127.5	238.5	359				国庫支出金	地域の元気臨時交付金		174					H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	終了	・河川法及び登別市普通河川管理条例に基づく河川の管理者は市であることから、市が主体的に行う必要がある。 ・事業区間の全部が完成して目的を達成するものであり、平成26年度で予定区間の整備が完了したため、事業を終了する。	市街地に位置する河川への転落を防止するため、河川防護柵の設置を行っていく。
																						道支出金												
										H25	上記のとおり	上記のとおり 【設置実績】111m	上記のとおり									地方債			2,400	3,100				H25	上記のとおり			
														－	－	－	－	－	－	－	－	その他												
										H26	上記のとおり	上記のとおり実施中 【設置実績】120.5m	上記のとおり									一般財源		1,407	104	400				H26	上記のとおり			
		23132002																				合 計		1,407	2,678	3,500	0	0	0					
11	3-②	ポンヤンケシ川改修事業	都市整備部	土木G	H22	H28	ハード	一般会計	適切な河川整備を行うことにより、治水対策の推進を図ることを目的とする。	H24	ポンヤンケシ川	ポンヤンケシ川の河川整備を行った。 （全体計画の内容） ・河川延長　：　450m ・河川幅　　：　4.0m ・管理用通路幅　：　3.0m+1.0m 【事業実績】 ・用地買収	河川法及び登別市普通河川管理条例	護岸工事	m		20				国庫支出金	地域の元気臨時交付金		1,680					H24以前	事業実施中に不断の事務改善を検討・実施しておりますが、事業内容に変更はありません。	維持	・河川法及び登別市河川管理条例に基づく河川の管理者は市であることから、その整備は、市が主体的に行う必要がある。 ・事業区間の全部が完成して目的を達成するものであることから、平成28年度の整備完了まで、事業を維持する。	ポンヤンケシ川の整備を進め、平成28年度の事業終了を目指す。
																						道支出金												
										H25	上記のとおり	上記のとおり 【事業実績】 ・護岸工事　　：　L= 20m ・河川防護柵　：　L=182m	上記のとおり									地方債		5,100	22,900	21,500	15,200	5,580		H25	上記のとおり			
														河川防護柵	m		182		275			その他												
										H26	上記のとおり	【事業予定】 ・用地買収	上記のとおり									一般財源		57	918	4,160	1,770	620		H26	上記のとおり			
		23132005																				合 計		5,157	25,498	25,660	16,970	6,200	0					
12	3-②	道路排水対策（雨水対策）事業	都市整備部	土木G	H23	H29	ハード	一般会計	道路排水対策事業を行うことにより、大雨に伴う道路冠水による交通障害、宅面浸水等の被害防除を目的とする。	H24	市道	大雨に伴う道路冠水多発地域を対象に、道路排水対策実施計画に基づき、排水路改良、排水路清掃など次の事業を実施した。 【事業実績】 ・実測実施設計　：　６箇所 ・排水対策工事　：　７箇所 ・排水清掃	道路法	対策工事実施箇所	か所	7	5	3	5	3	2	国庫支出金	地域の元気臨時交付金		12,991					H24以前	道路排水対策実施計画に基づき、計画的に排水路改良、排水路清掃などを進めていく。	維持	・市道の管理者である市が主体的に行う事業である。 ・事業実施には、多額の費用や労力を要するがやむを得ない。	道路排水対策実施計画に基づき、計画的に排水路改良、排水路清掃などを進めていく。
																						道支出金												
										H25	上記のとおり	上記のとおり 【事業実績】 ・実測実施設計　：　２箇所 ・排水対策工事　：　５箇所 ・排水清掃 ・河川浚渫(徳南川、上鷲別富岸川)	上記のとおり									地方債		137,000	147,700	158,500	157,900	146,300	114,600	H25	上記のとおり			
														ポンプ設置	か所			1			1	その他												
										H26	上記のとおり	上記のとおり実施予定 【事業実施予定】 ・実測実施設計　：　４箇所 ・排水対策工事　：　５箇所 ・排水清掃 ・河川浚渫(徳南川、上鷲別富岸川)	上記のとおり									一般財源		14,739	20,468	43,500	41,011	37,906	31,961	H26	上記のとおり			
		23132009																				合 計		151,739	181,159	202,000	198,911	184,206	146,561					

全会計　合計						
国庫支出金	0	14,845	0	0	0	0
道支出金	500	8,300	4,200	4,300	0	0
地方債	142,100	176,100	669,100	173,100	151,880	114,600
その他	0	0	4,944	0	0	0
一般財源	25,176	39,500	53,480	54,506	45,610	41,237
合計	167,776	238,745	731,724	231,906	197,490	155,837

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名	開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	Plan ・ Do																			Check			Action
								事業概要					事業の成果、目標								各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】							第2期基本計画第3次実施計画期間中(H24～H26)における事業内容の変更・改善等の状況	評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）	今後の事業の方向性【H27以降】
								事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	指標名	単位	H24 実績	H25 実績	H26 目標	H27 目標	H28 目標	H29 目標	名称	H24 決算	H25 決算	H26 予算	H27 予算案	H28 予算案	H29 予算案				
													一般会計 合計								国庫支出金	0	14,845	0	0	0	0				
																					道支出金	500	8,300	4,200	4,300	0	0				
																					地方債	142,100	176,100	669,100	173,100	151,880	114,600				
																					その他	0	0	4,944	0	0	0				
																					一般財源	25,176	39,500	53,480	54,506	45,610	41,237				
																					合計	167,776	238,745	731,724	231,906	197,490	155,837				
																					区分【再掲】	H24 決算	H25 決算	H26 予算	H27 予算案	H28 予算案	H29 予算案				